

働き盛り世代における年代や定期的歯科健診受診による歯科保健行動等の違い

～働き盛り世代の歯科保健実態調査より～

○大槻三美、松浦さゆり、黒橋真奈美、荒木勇雄（滋賀県南部健康福祉事務所）

1. 目的

青年・成人期の口腔保健管理は、高等学校以降、各種法律に基づいた歯科健康診査を受ける機会がなくなり、本人の意識や自己管理に任せられている。

二大歯科疾患を予防するためには、セルフケアの徹底とともに、定期的な歯科健康診査（以後、「定期歯科健診」）受診によるプロフェッショナルケアを受けることが重要である。

しかしながら、湖南圏域における30歳～59歳の定期歯科健診受診者割合（治療による受診は含まない）は男性21.4%、女性33.6%（平成27年度「滋賀の健康・栄養マップ」調査）にとどまっている。

そこで、働き盛り世代の歯科保健行動等について把握するとともに、その年代や定期歯科健診受診の有無による違いについて調査した。

2. 方法

【調査対象】

給食施設を有する事業所で、平成30年度健康増進法に基づく指導対象となった8事業所のうち、同意の得られた5事業所に従事する者672名

【実施期間】

平成30年11月19日～平成30年12月21日

【アンケート配布・回収】

アンケートの配布および回収は事業所に依頼した。

【倫理的配慮】

調査協力をもって同意したものとし、得られた情報はコード化してデータ入力し、個人が特定されないよう処理した。

3. 結果

従業員数100～299人が2事業所、300～499人が3事業所の計5事業所の従業員528人より回答を得た（回収率：78.6%）。

①年代別（20・30歳代と40・50歳代）での比較

		20・30歳代 n=233	40・50歳代 n=247	p<0.05
QOL	噛むことにほぼ満足している	171名(73.4%)	156名(63.2%)	*
QOL	歯牙・歯肉の疼痛のため、食事に不自由を感じたことがある	75名(32.2%)	109名(44.1%)	*
症状	歯牙疼痛や、しみたりすることがある	104名(44.6%)	132名(53.4%)	*
症状	歯みがき時などに歯肉から出血することがある	124名(53.2%)	139名(56.3%)	
症状	口臭がある。または周りから指摘されたことがある	52名(22.3%)	89名(36.0%)	*
症状	動揺歯がある	9名(3.9%)	139名(14.6%)	*
保健行動	定期的に歯科健診を受けている（治療のための受診は含まない）	75名(32.2%)	100名(40.5%)	
保健行動	フロスなど補助的清掃用具を使用して口腔清掃している	79名(33.9%)	110名(44.5%)	*

(X²検定)

20・30歳代と比較して40・50歳代は、口臭や歯肉の動揺などの自覚者割合が高かった。しかし、歯肉出血はどちらの年代においても2人に1人の割合で自覚していた。QOLは40・50歳代で低かった。

②定期的歯科健診受診者と未受診者での比較

		定期的受診 n=190	未受診 n=319	p<0.05
QOL	噛むことにほぼ満足している	139名(73.2%)	205名(64.3%)	
保健行動	1日1回は時間をかけてみがく	145名(76.3%)	215名(67.4%)	*
保健行動	フロスなど補助的清掃用具を使用して口腔清掃している	118名(62.1%)	88名(27.6%)	*
保健行動	定期的に歯石除去している	168名(88.4%)	31名(9.7%)	*
保健行動	歯科衛生士から歯みがき指導を受けたことがある	175名(92.1%)	177名(55.5%)	*
準備因子	歯肉が弱っていたら、歯みがきは少し控えた方がよいと思う	37名(19.5%)	99名(31.0%)	*
準備因子	フッ化物配合歯磨剤はむし歯予防に効果があると思う	134名(70.5%)	219名(68.7%)	

(X²検定)

定期的受診者（当調査回答者の37.3%）は、未受診者よりも定期的に歯石除去しているなど望ましい歯科保健行動がとれ、歯みがきなどに関する正しい知識を有している者が多かった。

4. 考察

年代が上がると口腔内症状の自覚者が増え、QOLが低くなる。また、定期的歯科健診受診者の方が正しい知識を持ち、それにより望ましい歯科保健行動に繋がっていると考えられた。

多忙であることに加え、歯科疾患が重症化していない働き盛り世代は、生涯にわたる口腔保健管理の中でも疎かになりやすい世代である。しかしながら、職域での対策が進めば従業員への効果が得られやすいとも考えられる。

歯科関係団体と連携の上、職域への働きかけを行い、働き盛り世代の口腔への意識向上に努めたい。

参考文献

- 1) 厚生労働省, 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」, 平成24年7月23日官報(号外第158号)
- 2) 公益財団法人8020推進財団, 第2回永久歯の抜歯原因調査報告書, 2018-11, <http://www.8020zaidan.or.jp> (2019.10.9閲覧)